

# やすらぎ通信

第 51 号（平成 27 年 2 月 1 日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

## 如月(きさらぎ)

### あのこはたあれ

作詞 細川雄太郎 作曲 海沼実

あのこはたあれ たれでしょね  
なんなんなつめの はなのした  
おにんぎょうさんと あそんでる  
かわいい みよちゃんじゃ  
ないでしょか

あのこはたあれ たれでしょね  
こんこんこやぶの ほそみちを  
たけうまごっこで あそんでる  
となりの けんちゃんじゃ  
ないでしょか

（以下 略）



喫茶室

今月の節気は、立春（2月4日）と雨水（うすい、2月19日）です。立春は旧暦では1年のはじめとされ季節の節目はこの日が起点とされています。雨水は寒気が弱まる兆しが表れ、それまで空から降って来ていた雪が雨に変わる、氷が溶け水になるという意味だそうです。春一番もこの頃に吹くことが多いようです。

さて、2月の行事と言えば何を皆さんは思い浮かべられるでしょうか。バレンタインデーもずいぶん前から定着していますが、やはり伝統的な季節行事である節分の豆まきを挙げられる方が多いのではないのでしょうか。豆をまいて鬼を追い払う行事はお寺などで行われる行事だけでなく、家庭でも身近に参加できるイベントとして昔から親しまれています。ではなぜこの時期かと申しますと、そもそも節分は立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれ前日のことを言い年四回ある季節の変わり目の日のことでしたが、旧暦では1年のはじめが立春の頃とされていたので立春の前日の節分が一番重視され節分の代名詞となりました。すなわち旧暦では節分は大みそかと等しく、年越しの重要な日となります。そこでこの日に新年を清らかに迎えることができるよう古くから宮中で弓矢などを用い、悪鬼などを追い払う儀式である追儺（ついな）という行事と邪気を払うために節分に寺社で行っていた豆打ちの儀式が合わさり、今日の節分の豆まきとなったようです。皆さんも鬼を追い払うだけでなく春が近づき活動期を迎えるにあたっての始まりの儀式として思いを馳せながら豆まきをされるのは如何でしょうか。

もう一つ春に向けて活動の始期を表す年中行事に初午（はつうま）があります。これは2月に最初に迎える午の日の行事で、京都の伏見稲荷大社をはじめ各地の稲荷神社で盛大にお祭りが行われます。旧暦2月の初午の日は今の3月にあたり、ちょうど稲作を始める時期であり豊作を願い農耕の神様を祭るようになったとのこと。そもそも農業神である稲荷神社の語源は「稲生り」から来たと言われ、そのためこのようなお祭りが今もおこなわれるようです。ちなみに今日では稲荷神社はお稲荷さんとも呼ばれ、農業神だけでなく商売の神様としても多くの参拝者でにぎわうこととなっています。この立春を迎える初午の日は、一年のうちでもっとも運氣の高まる日であるとも言われているそうです。その真偽はともかく先程の豆まきと同じく春に向け物事を始める時期でもあり、豊かな実りを秋（将来）に得るためにも行動に移すべき時期がこの季節ということかもしれません。

先月、11日には第3回目となるふれあい病院探検隊を開催させていただきました。この行事は、府内の高校1、2年生たちに病院の仕事を体験していただき将来の職業選択に医療という分野を加えていただくために、医師・看護師・薬剤師・医療技術職・など職員が休日に総力を挙げ取り組む当センターの重要な年中行事です。当日は多くの高校生たちに参加いただき、その生き生きとした目に私たちも感銘を受けることができました。物事を始めるのに遅いということはないのかもしれませんが、いよいよ春が近づくとこの時期、皆さんも何か新しいことにチャレンジされてみませんか。

## NEWS

### 【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～腎臓・高血圧内科からのお知らせ】

#### 1) 「慢性腎臓病の病診連携のための症例検討会」開催のご案内

平成 27 年度から新たに「慢性腎臓病の病診連携のための症例検討会」を開催いたします。この症例検討会は年 2 回開催予定で、地域の先生方からご紹介いただいた症例を毎回数例ずつ呈示し、我々腎臓専門医がどのように診断し、どのような考え方に基づいて治療方針を決定するのか、そして安定した患者さんをどのような形で地域の医療機関に逆紹介あるいは併診していくのかを先生方と具体的に討論することを目的としております。これにより、紹介のタイミングや連携のポイントなど先生方の疑問点が解決できればと考えております。ぜひ多くの先生方のご参加をお待ちしております。詳細につきましては改めまして連絡させていただきます。



#### 2) 「慢性腎臓病対策外来」のご案内

慢性透析患者数は増加の一途であり、2013 年末のわが国における患者数は 31 万人余りとなっており、毎年 3 万 5 千人前後の患者さんが新たに透析に導入されている現状は変わらず続いております。

当科では透析導入を阻止するために 2013 年 12 月より**慢性腎臓病対策外来**を開設しており、当科通院中の患者さんだけでなく、地域の医療機関に通院中の患者さんにもご参加いただいております。

#### 2015 年 慢性腎臓病対策外来の予定

1 月	慢性腎臓病と栄養管理	7 月	慢性腎臓病と栄養管理
2 月	透析についてよく知ろう	8 月	慢性腎臓病と血圧管理
3 月	慢性腎臓病と栄養管理	9 月	慢性腎臓病と栄養管理
4 月	慢性腎臓病と血圧管理	10 月	慢性腎臓病と薬物療法
5 月	慢性腎臓病と栄養管理	11 月	慢性腎臓病と栄養管理
6 月	慢性腎臓病と薬物療法	12 月	慢性腎臓病と血圧管理

貴院通院中の慢性腎臓病の患者さんがおられましたら、ぜひともお声をお掛けいただければと思います。慢性腎臓病対策外来に参加をいただく場合、「**慢性腎臓病対策外来申込書**」(診療情報提供書に代わるものです)にご記入の上、地域医療連携室まで FAX をお願い致します(カルナでの申し込みも可能です)。

#### ○慢性腎臓病対策外来の予約方法

腎臓・高血圧内科通院中の患者さんは 7 番外来で予約を取っていただき、それ以外の患者さんは現在通院されている病院の主治医の先生から、当院地域医療連携室を通して「慢性腎臓病対策外来」の予約をとっていただく必要があります(インターネットによる予約も可能です)。

「慢性腎臓病対策外来」は集団指導と個別指導の両方を行いますので、1 回 5 組の参加に限定させていただきます。できるだけご家族と一緒にご参加ください。なお、「慢性腎臓病対策外来」は毎月第 1 月曜日の開催となりますので、地域からお申込みになる場合は、患者さんの病態把握と指導内容の準備のため、「慢性腎臓病対策外来

予約申込書」を、少なくとも受診日の1週前の月曜日までに地域医療連携室まで FAX していただきますようお願い申し上げます。

慢性腎臓病対策外来には通常の再診料（初診の場合は初診料）と、栄養指導に参加された場合は栄養指導料（自己負担は200～600円程度）の費用が発生します。詳細は腎臓・高血圧内科外来（7番外来）、あるいは地域医療連携室にお訪ね下さい。

腎臓・高血圧内科主任部長 林 晃正

### 【～地域の医療機関の皆様へ～乳がん術後連携パスについて】

日頃より急性期・総合医療センターの乳癌診療をご支援いただきありがとうございます。

乳腺外科で推進しております乳癌術後連携パスを紹介させていただきます。

手術、術前後化学療法、放射線療法を終了された患者さんを対象に、引きつづくホルモン薬投与・定期診察、を情報・スケジュールの共有のもと地域の医療機関が協力して行うための指針です。

術後3年以内は3～6か月ごと、4～5年は6～12か月ごと、5年以後は12か月ごとの診察（問診、視触診）、6か月ごとの血液検査（検血、生化学、腫瘍マーカー（CA15-3, CEA, NCC-ST439））とUS、1年ごとのMMG撮影という内容です。

これは日本乳癌学会編 乳癌診療ガイドラインの内容に準拠したものとなっております。問診、視触診で再発の15%が発見され、1年ごとのMMGにより治療可能局所再発の50%と同側・対側の2次癌の66%が発見されるというevidence、および腫瘍マーカー(CA15-3)の上昇が再発症状発現の平均5～6か月前に見られるとのevidenceにもとづいています。

この乳癌術後連携パスは大阪府下を対象に2010年(平成22年)発足のOABN(Osaka Area Breast Network)の乳がん診療連携パスを基本としております。

長期化する術後ホルモン療法、その後にひきつづくフォロー、また5年～10年におよぶ再発後治療を行ってゆくには地域の先生方のご支援が不可欠の時代となっております。



何卒ご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、急性期・総合医療センター「がん診療における地域連携パス登録医(乳癌)」への登録のご検討を重ねてお願い申し上げます。

乳腺外科主任部長 青野 豊一



### 【～地域の医療機関の皆様へ～IVRセンター開設のお知らせ】

“IVR”とは、聞き慣れない言葉だと思います。Interventional Radiology、直訳しますと放射線による介入手技ということになりますが、レントゲンを見ながらいろいろな処置をするということです。主に血管内の「カテーテル治療」を行います、その他にも様々な治療・処置を行います。当施設では、心臓・下肢動脈は心臓血管センター、胸腹部大動脈は低侵襲性心血管治療センター、脳・頸動脈領域は脳卒中セン

ターが担当しており、IVR センターでは、それ以外の全身を対象とすることになります。

まず、血管内カテーテル治療として、肝細胞癌(HCC)に対する抗癌剤を用いた動注化学塞栓療法(TACE)を行っています。これまでリピオドールを用いた conventional TACEを行ってきましたが、本年4月からは薬剤溶出性ビーズ(DEB; Drug Eluting Bead)を導入し、より患者様に負担の少ない治療法として DEB-TACE を施行しています。

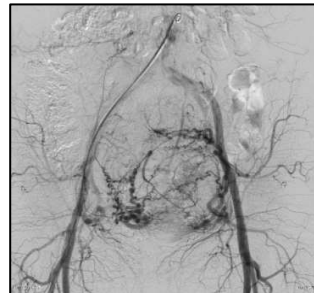
頭頸部腫瘍に対しては、耳鼻科・口腔外科と連携し、抗癌剤動注療法を行っています。

緊急性を必要とする様々な症例にも対応しています。消化管出血として多いのは憩室出血で、内視鏡医と連携して治療を行っています。肝硬変の患者様で多いのは静脈瘤破裂ですが、食道と比べて胃の静脈瘤は内視鏡での治療が難しく、カテーテルによる治療(BRTO, PTO など)を行います。インターフェロン導入など、血小板が低い場合には、部分的脾動脈塞栓術(PSE)を行います。

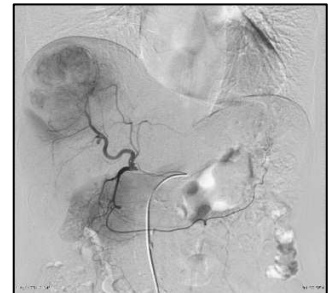
呼吸器内科との連携では、喀血の症例に対し、気管支動脈塞栓術(BAE)を行います。

産婦人科との連携では、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術(UAE)を行っています。子宮腺筋症の患者様にも、適応を拡大して行うこともあります。

泌尿器科との連携では、多発性嚢胞腎の症例に対して、腎動脈の塞栓術を施行します。腹部膨満感、高血圧などに良好な効果を得ることができます。



DEB-TACE (HCC)



UAE (子宮筋腫)

その他、血管奇形(AVM/AVF)、内臓動脈瘤、術後出血に対する塞栓などにも対応しています。また、カテーテル治療以外には、膿瘍のドレナージや深部腫瘍の生検(CT下、コーンビームCT下、エコー下)なども行います。

今後は、さらに症例の範囲の拡大を目指し、特に進行悪性腫瘍に対する緩和医療としての動注化学塞栓療法の導入を試みています。転移性肝癌、肺癌、膀胱癌などに対する有用性が期待されています。

設備としては、最新の IVR システムを用いて、血管造影下のコーンビーム CT を撮像することが可能です。これにより、適切な血管の選択および注入、適切な経路での穿刺を行うことができ、術の成功および安全に大きく寄与しています。

また、看護師、放射線技師ともに経験豊富なスタッフで構成されており、手技の成功に大きく役立っています。

IVR センター設立に併せ、2014 年 11 月より、IVR センター外来を開設しました。毎週木曜日午後に予約を受け付けていますので、紹介状とともに直接当センターを受診して頂けます。診察の上、当科での処置を行う場合には、関係各科に依頼し、協力して治療を行うこととなります。御気軽にご相談にきて頂ければ幸いです。何卒、ご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

IVR センター長 杉原英治

### 【「医療相談」コールセンターのご利用を ―地域医療連携センター―】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話で相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

### 【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201 (代表)にダイヤルして  
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科  
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科  
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

### 【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

### 【(新) 診察予約時間の表示変更について】

平成26年12月以降の予約より、診察予約時間の表示を変更いたしました。

これまで、患者の皆様には30分単位の予約時間帯を案内していましたが、平成26

年 12 月以降の予約は、予約時刻を案内しております。予約時刻に合わせてご来院くださいますようお願いいたします。

※ 診察は通常予約時刻順に行います。

当日の診療状況によりお待ちいただくことがあります。

再来受付機による受付番号は、診察順には関係ありませんのでご注意ください。

### 【(新)「大阪府立病院のミッション」ホームページを公開しました】

平成 26 年 12 月 19 日から、「大阪府立病院のミッションー地域に根付く 5 つの医療ネットワークー」ホームページを公開しております。

このホームページでは、「府民の皆様命と健康を守る」という、大阪府立病院機構の役割についてご紹介しております。また、大阪府立病院機構の 5 つの病院で行っている医療の内容について、詳細をご覧ください。

大阪府立病院機構について、身近に感じてもらい、大阪府立病院機構の活動にご理解・ご賛同をいただけましたら幸いです。

(URL) <http://www.opho.jp/mission/>

### 今月の催し

#### 【すこやかセミナー「体にやさしい手術（腹腔鏡手術）」】

日 時 2 月 12 日 (木) 午後 2 時～3 時  
場 所 本館 3 階 講堂  
講 師 消化器外科医長 團野克樹  
参加費 無料



#### 【相愛大学連携 第 45 回外来糖尿病教室

##### 知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 2 月 18 日 (水) 午後 2 時～  
場 所 本館 1 階 アトリウム  
内 容 新しい血糖測定のカタチ～血糖持続モニターCGM ってなに～  
(糖尿病代謝内科医員 藤田洋平)  
神経伝達速度検査って何？ (臨床検査科臨床検査技師 藤田 武)  
そのダイエットは正しいの？ (相愛大学准教授 竹山育子)  
参加費 無料

**【第 28 回万代・夢寄席「桂春団治一門会」**

～寒い時こそ笑いがいちばん！楽しい落語でホッコリしよう！～

日 時 2月19日(木) 午後2時～3時  
場 所 本館3階 講堂  
出 演 桂 蝶六、桂 咲之輔  
入場料 無料

**【すこやかセミナー「入院中に、動けなくなる？動かなくなる？**

—入院中の寝たきりを防ぐ—】

日 時 2月27日(金) 午前11時～12時  
場 所 本館3階 講堂  
講 師 リハビリテーション科理学療法士 大谷直寛  
参加費 無料

**【(新) 第 15 回病院ギャラリー企画展 田中 幸太郎『花火の光跡による抽象写真展』】**

田中幸太郎(1901 - 1995)は、三重県伊勢市で生まれる。1932年に大阪で創作写真グループ稚草社の創立に参加されました。1948年、朝日新聞社出版局の仕事を始め、1955年から約10年間「日本の原風景・河内シリーズ」などを撮り続けました。

1962年、ピカソがカメラの前で懐中電灯を振ってデッサンする姿を思い出して、カメラのシャッターを開いたまま体全体を動かして夜空に打ち上がる花火の光跡をフィルムに収め、その後、花火による抽象写真家として知られるようになりました。

今回の展示は、「花火の光跡による抽象写真展」と題し、60代から撮り始めた花火の光跡による色鮮やかな抽象写真29作品を展示します。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 2015年2月16日(月)～2015年5月15日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 抽象写真 29作品

※ 2015年2月19日(木)13時30分から大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課・主任研究員の中塚宏行氏による作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催いたしますのでご参加ください。

※ なお、第14回病院ギャラリー企画展 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展—大徳寺散歩—は2015年2月13日(金)までとなります。

**【(予告) 府民公開講座「成人向けワクチンの話」】**

日 時 3月7日(土) 午後1時30分～3時(午後1時開場)  
場 所 本館3階 講堂



講 師 総合内科部長代理 大場雄一郎  
参加費 無料

**【(予告) すこやかセミナー「地震災害の知識と必要な備え」】**

日 時 3月12日(木) 午後2時～3時  
場 所 本館3階 講堂  
講 師 松浦暁子、山下直美  
参加費 無料



**【(予告) 相愛大学連携 第46回外来糖尿病教室**

**知って得する！ 糖尿病との付き合い方】**

日 時 3月18日(水) 午後2時～  
場 所 本館1階 アトリウム  
内 容 整理しよう！こんな薬、あんな薬(糖尿病代謝内科医員 渡邊裕堯)  
糖尿病の運動療法(リハビリテーション科理学療法士 松井未衣奈)  
食生活を見直そう！(栄養管理室 管理栄養士 笠井香織)  
参加費 無料

**【(予告) 第38回相愛大学連携コンサート「トランペットアンサンブル」】**

日 時 3月26日(木) 午後2時～3時  
場 所 本館3階 講堂  
出 演 未定  
入場料 無料

**【(予告) すこやかセミナー「安全なインプラント埋入」】**

日 時 3月27日(金) 午前11時～12時  
場 所 本館3階 講堂  
講 師 歯科口腔外科医長 山田龍平  
参加費 無料



### 【 管理栄養士のコーナー 】 ~ちょっとおいしい話~

お正月気分もすっかり抜けた頃でしょうか。まだまだ寒い日が続きますが、暦の上では「立春」春を迎える季節となりました。

今回は、この時期、旬の真鯛を使ったかぶら蒸しをご紹介します。

《材料》	(1人分)	(2人分)	
鯛	1切れ 80 g	2切れ 160 g	
料理酒	小さじ1杯	小さじ2杯	
昆布	3cm角	3cm角×2	
A {	かぶ	60 g	120 g
	卵白	1/2個	1個
	片栗粉	小さじ1/3杯	小さじ2/3杯
生椎茸	10 g	20 g	
人参	10 g	20 g	
B {	出し汁	60 g	120 g
	うす口醤油	小さじ1杯	小さじ2杯
	みりん	小さじ1杯	小さじ2杯
菜花	10 g	20 g	
出し汁	適宜	適宜	
わさび	適量	適量	

(1人前) エネルギー：173kcal たんぱく質：19.8g 脂質 4.8g 食塩相当量：1.4g

- ① 昆布は乾いた布巾でふいて器に敷き酒を振った鯛の切り身をのせる。
- ② 蒸気のあがった蒸し器に①をいれ、中火で5分ほど蒸す。
- ③ Aの卵白は少し暖めたボールに入れてかたく泡立てる。
- ④ かぶは皮をむき、すりおろして軽く水気をきり、③と片栗粉を入れてさっくり混ぜ合わせ、蒸した②の上にかけて中火で8分ほど蒸す。
- ⑤ 生椎茸、人参は2cmほどの千切りにしBで煮る。
- ⑥ 菜花は色よく茹で、水にとりしぼり、出し汁につけて軽くしぼる。
- ⑦ 蒸し上がった④に⑤をかけ⑥を添え、わさびを天盛りにする。

菜花は春野菜の中でも特にビタミンCやカルシウムなどビタミン、ミネラルが豊富に含まれます。季節の変わり目、体調を崩しやすいこの時期に是非とりいれたいおすすめ食材です。今回は添えで使用しましたが、辛子和えやごま和えなどでも美味しくいただけます。

栄養管理室 管理栄養士 山根 泰子

## 今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

### 【(新) 外来会計 村松さんの巻】

外来会計には、1日に1500人を超える患者様が来られます。

多くの患者様が来られる分だけ、求められることも色々あります。

この病院に初めて来られたのか、あたりを見回しておられるご様子の方は心配そうに質問されることが多いです、逆に急いでおられる方は説明の途中でその場を去られることもあります。また会計番号を見にくそうにしておられる方や手が不自由で自動精算機が使いづらそうな患者様もいらっしゃいます。

このように様々な理由で困っておられる患者様のことを考えると、私たちも患者様が必要としておられる事に、できる限り応えていきたいと思えます。

最近そのような様子に気付いた時には、「お会計をお名前でお呼びしましょうか。」「計算ができれば収納窓口からお声をかけます。」などとお声かけをするようにしたところ以前より患者様に「ありがとう。」と言っていた回数が多くなりました。これを励みに、これからも患者様が何を求められているかに気づくよう努力し、少しでも喜んで頂ける対応を心がけていきたいと思えます。

## その他のお知らせ

### 【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。



価格：1,998円（消費税8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
  - ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方
- 割引価格：1,700円（消費税8%込）

### 【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



### 【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。（ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。）

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

### 【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。